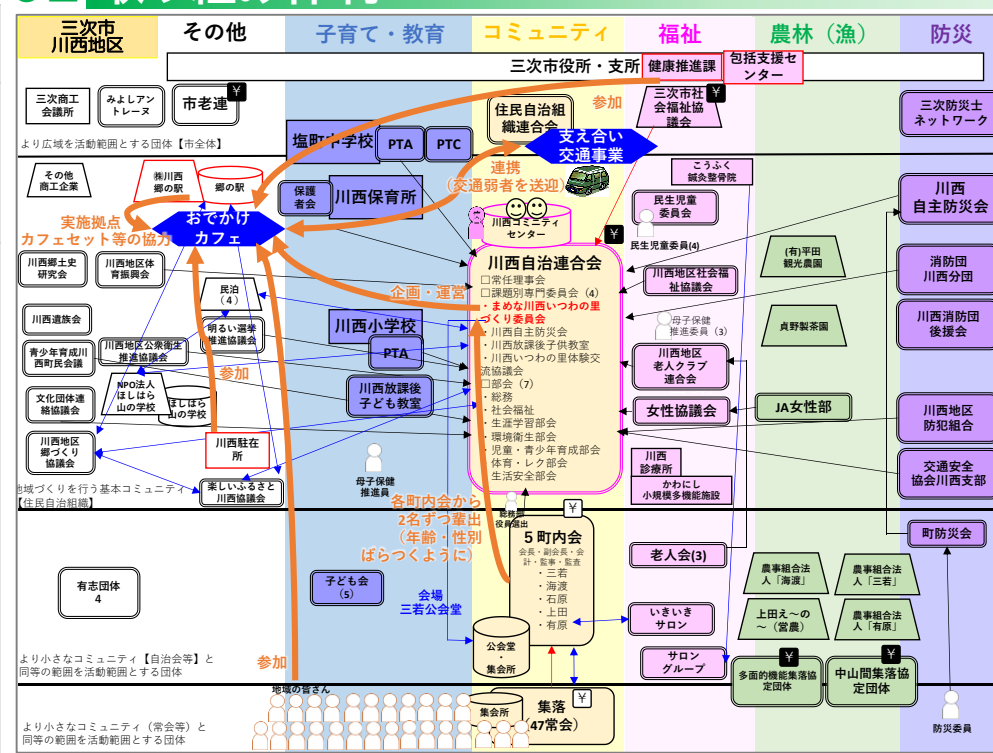


川西 郷の駅お出かけカフェ

01 取り組み概要

実施主体	川西自治連合会の里づくり委員会
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ● 集いの場をつくりたい。 ● 郷の駅を地域の拠点として利用してもらいたい。 ● 地域の支え合い交通の利用者を増やし、出かけることや人と会う機会を増やしてもらいたい。
内容	<p>今年度初の試みとして、「郷の駅お出かけカフェ」という地域住民の交流の場を里づくり委員会で企画しました。毎月最終木曜日の14時30分～、川西郷の駅食堂で実施し、参加費300円(カフェセット)で誰でも自由に参加できます。</p> <p>現在は口コミで評判は広がり、これまでスタッフ含め毎回10～20数名の方にご参加いただいています。また、川西自治連合会として様々な地域の会議に参加して話をすることで、健康推進課や包括支援センターからもおいでくださるなど、徐々に集いの場としての広がりも見せています。今後も継続させていくことで、地域の人の元気の源となることを期待しています。</p>

02 取り組み体制



2020年度地元関係図上に表示

03 特徴・工夫

- 小さな事業だから良い
 - 自分たちでできる粒感=挑戦しやすさ
 - 取り組みは小さくとも、大きな成果
- 老若男女で形成された「里づくり委員会」の存在
 - 連合会の強力な(年齢や性別に多様性がある)協力者
 - 既存の取り組みに捕らわれず機動的な動きができる
- “小さな拠点づくり”へ
 - 地域の拠点を集う場に
 - 支え合い交通事業「いつわ号」とも連携

04 成果と課題

成果

- ささやかな会ですが、多方面に広がりを見せています
 - 短時間のかきこまった場でないからこそ、こちらからお声がけせずともいろんな方が自ら関わってくださる“場”としての広がりを見せ始めている。この会を開くことでいろんな方面の関係性が強まってきた。

課題

- 継続させるための運営のあり方
 - 運営主体が里づくり委員会でなくとも続けられるように。
- 多様な参加者の広がり
 - いろんな世代の人にもっと来てもらいたい。いろいろな形で地域内に多様なネットワークがつくられたら。

05 取り組みの様子



記念すべき初回

6月29日に初めての「郷の駅お出かけカフェ」を実施しました。参加者が工作した七夕の飾りつけに囲まれながら和やかにスタートをきりました。



各回ごとに企画

「郷の駅お出かけカフェ」では毎回何かしらの企画をしていきます。この日はアサガオづくり。企画・運営してくださる里づくり委員の皆さんに感謝です。



いつわ号で送迎

参加して下さる方の中には、家から郷の駅までの移動手段がない方も。そんな方は支え合い交通事業で実証実験中の「いつわ号」で送迎しています。



集いの場を目指して

「郷の駅お出かけカフェ」は年齢、性別問わず地域の方にたくさん参加いただきたいと思っています。8月は嬉しいことに小学生も参加してくれました。



ハロウィン企画

10月末はハロウィン。福笑いの要領でかぼちゃの輪郭に目や口の部品を置いていきます。これも里づくり委員のアイデア。メンバーに元保育士さんもおられるからか、ならではの企画・実行力です。誇らしい。



多方面への広がり

何はともあれ“続けてみる”ことを意識しています。そうしているうちに、10月は駐在さんが参加して特殊詐欺などに関する情報提供をしてくださいました。

声



- ☆ 毎回楽しみにしているのでカフェの日は予定を空けています。
- ☆ 手先が思うように動かないけど、助けてもらいながら飾りを作っています。
- ☆ 郷の駅で作ってくださるカフェセットも楽しみの一つです。
- ☆ いつわ号で参加できるのでうれしいです。
- ☆ 友達から声をかけてもらい参加しました。来てよかったです。

声



- みなさんが喜ばれる顔をみるとうれしくなります。
- 季節の飾りを考えるのが大変だけど楽しみです。
- 郷の駅の賑わいが増えていいと思います。